

みずほCustomer Desk Report 2023/12/11 号 (As of 2023/12/08)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	143.14
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	144.25	1.0791	155.67	1.2589	0.6596
SYD-NY High	145.22	1.0799	156.06	1.2606	0.6620
SYD-NY Low	142.50	1.0724	153.90	1.2504	0.6559
NY 5:00 PM	144.95	1.0761	156.05	1.2548	0.6578
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	36,247.87	130.49	日本2年債	0.0900%	0.0000%
NASDAQ	14,403.97	63.98	日本10年債	0.7700%	0.0200%
S&P	4,604.37	18.78	米国2年債	4.7208%	0.1294%
日経平均	32,307.86	▲ 550.45	米国5年債	4.2418%	0.1115%
TOPIX	2,324.47	▲ 35.44	米国10年債	4.2286%	0.0819%
シカゴ日経先物	32,595.00	155.00	独10年債	2.2670%	0.0720%
ロンドンFT	7,554.47	40.75	英10年債	4.0365%	0.0710%
DAX	16,759.22	130.23	豪10年債	4.3120%	0.0620%
ハンセン指数	16,334.37	▲ 11.52	USDJPY 1M Vol	10.43%	▲ 0.72%
上海総合	2,969.56	3.35	USDJPY 3M Vol	9.75%	▲ 0.59%
NY金	2,014.50	▲ 31.90	USDJPY 6M Vol	9.37%	▲ 0.40%
WTI	71.23	1.89	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.80%	Yen Call Over
CRB指数	262.82	2.08	EURJPY 3M Vol	9.87%	▲ 0.46%
ドルインデックス	104.01	0.47	EURJPY 6M Vol	9.57%	▲ 0.42%

東京	東京時間のドル円は144.25レベルでオープン。本邦のマイナス金利政策解除の観測が高まり、円金利は上昇。加えて、流動性が低い中でドル円は142.50まで下落した。その後は円金利の低下を横目にドル円もじりじりと値を戻した。東京時間クローズ前は144円を挟んだ水準でもみ合うと、結局144.06レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、144.06レベルでオープン。立ち上がりは144円を挟んだもみ合いだったが、午後に米雇用統計を控えてのポジション調整もあってか、ややドル買戻しが優勢となる中で一時144.68円まで上昇する場面も。結局144.39レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は144円台前半でスタート。前日の植田日銀総裁の金融政策修正を巡った発言が再び意識され、円金利上昇と共に円買いが進み、142.50まで下落する。その後は円金利が反転低下する動きを横目に、円が売り戻され、ドル円は底堅い推移が続き、144.39レベルでNYオープン。朝方に発表された注目の米11月非農業部門雇用者数変化が予想を上回り、失業率も予想を下回り、平均時給(前月比)も予想以上の伸びを見せた内容を受け、市場はドル買いで反応し、145.22まで上伸。しかしその後すぐに失速し、143.77まで反落する。続いて発表された米12月ミシガン大学5-10年期待インフレ率が予想を下回り、再び143.86まで反落。売り一巡後は、米12月ミシガン大学消費者マインド指数ヘッドラインが予想を上回った事を受け、米金利上昇と共にドル買いが優勢となり、144円台半ばまで戻す。午後は米金利が高水準で推移する展開が支援材料となり、終盤にかけて145.00まで戻し、144.95レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。じり安での推移が続き、1.0778レベルでNYオープン。朝方は先述の強い米11月雇用統計を受け、ドルが買われる中、1.0724まで反落。その後1.0786まで反発する場面も見られたが、買い戻しは長続きせず、再び1.0740付近まで値を下げる。午後は下げ渋り、1.0760付近まで小幅反発し、1.0761レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大野・西

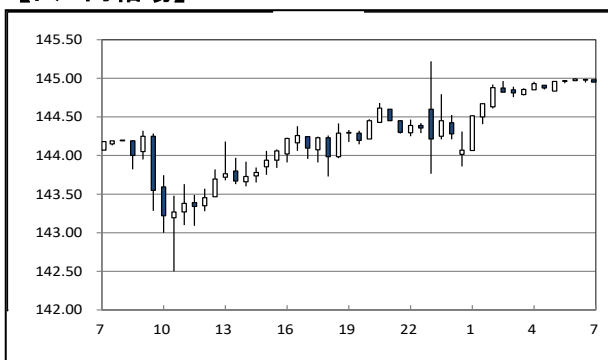
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月8日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	3Q -0.7%	-0.5%
12月8日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	3Q -2.9%	-2.0%
12月8日	08:50	日 経常収支(国際収支ベース)	3Q ￥2582.8b	￥1689.3b
12月8日	08:50	日 貿易収支(国際収支ベース)	3Q - ￥472.8b	- ￥372.2b
12月8日	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	11月 -0.4%/3.2%	-0.4%/3.2%
12月8日	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	11月 199k	185k
12月8日	22:30	米 失業率	11月 3.7%	3.9%
12月8日	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	11月 0.4%/4.0%	0.3%/4.0%
12月9日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	12月 69.4	62.0
12月9日	10:30	中 CPI(前年比)	11月 -0.5%	-0.2%
12月9日	10:30	中 PPI(前年比)	11月 -3.0%	-2.8%

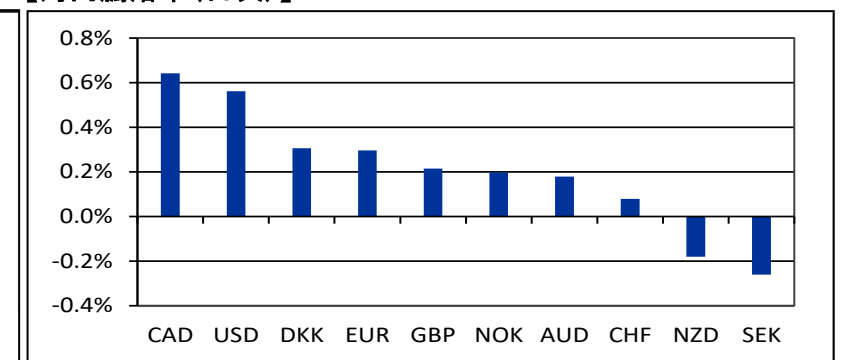
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
------	------	-------	----	----

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.00-146.00	1.0650-1.0850	154.50-157.50

【マーケット・インプレッション】

先週先週金曜日、ドル円は144.25レベルでオープン。東京時間は日銀によるマイナス金利解除への思惑から、この日の安値142.50円まで下落。その後は値を戻し144.06レベルで海外へ。発表された米11月雇用統計の強い結果を受け米長期金利が上昇し、この日の高値145.22円をつけた。その後発表された米12月ミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想を下回ったことで143円台後半まで下落する場面もあったものの、米利下げ観測が後退したことで下落も限定的なものとなり、144.95レベルでクローズした。
本日のドル円は神経質な展開を予想をする。米11月雇用統計において堅調な結果が確認されたことで円高ドル安の展開も一服。注目材料は12日(火)発表の11月米CPI、ならびに12-13日開催のFOMCである。マーケットでは依然として日銀による緩和策修正時期やFRBによる利下げ展開時期について意識されやすく、本日のドル円は神経質な展開となろう。